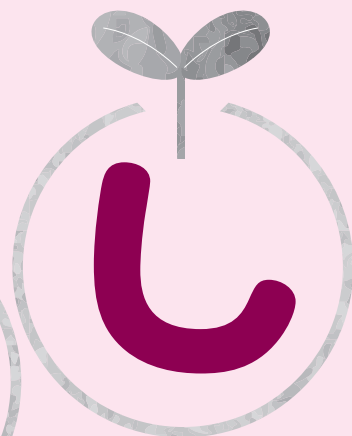
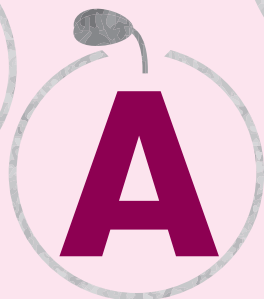


・／人 広報



主な
話題

小麦収穫はじまる
伊達中学校職業体験
馬鈴薯収穫開始
Girls' Night! 他

8 月号
NO.694

TOPICS

皆さん体調はいかがですか？北海道でも40度を超す地域がでてくるなど経験したことのない夏が訪れています。自分の熱中症対策はもちろんのこと、周囲の人との声掛けも大切です！

■小麦収穫はじまる

7月中旬から例年より数日早く、秋まき小麦「ゆめちから」の収穫が伊達市内各地で始まりました。今年の小麦面積はゆめちから130ha(うち種子用20ha)、春よ恋44haの合計174haで、昨年よりも5ha増加しました。今年度も播種時の空中散布による防除、種子消毒機による消毒作業などが実施され、高品質化に向けての取り組みが行われました。また、麦乾施設では21日より「ゆめちから」の受入が開始され、担当者は「収量は前年並みであるものの6月の干ばつの影響から全道的に細麦が多く品質に影響がでている。」と話していました。



収穫のようす

■トマト部会目均し会

7月1日(火)、トマト部会では目均し会をトマト選果場で開催し部会員ら約30名が参加しました。目均し会では東京青果株式会社をはじめとする道内外の市場担当者が現在の販売状況を説明し、その後は実際にサンプルを囲み出荷に関しての基準などを確認し合いました。昨年は品種を変更したことにより収量、秀品率が向上したものの、病害虫の影響により後半は収量等が減少しました。今年度は暑熱対策や病害虫対策にも取り組み、600tの出荷を予定しています。



目均し会のようす

■ 伊達中学校職業体験

7月2日(水)～3日(木)の2日間、伊達中学校2年生による職業体験が行われました。今回は総合的な学習の時間の一環として2年生168名の生徒たちが様々な職業を体験するべく、伊達市内各地52カ所へそれぞれ赴き2日間にわたり仕事を体験しました。そのうち、農業の体験として伊達中学校区内の稀府・東地区にある10戸の生産者にご協力いただき、25名の生徒を受入れました。

生徒たちは各生産者の元で、トマトの誘引作業や収穫作業、袋詰めといった出荷準備、

きゅうりの管理作業、レタス・キャベツ・ブロッコリー・チンゲン菜の種まき作業など様々な作業を行いました。

生徒達は「しゃがみながらの移動や中腰での作業など大変な作業もあったが、収穫作業やトマトの袋詰め・箱詰めといった作業は楽しかった!」と話し、受け入れた生産者からは「少し説明しただけで要領よくこなしてくれて助かった」との声もありました。ご協力いただいた生産者の皆さん、ありがとうございました。



レタスの種まき



かぼちゃ畝立て



トマト誘引作業



トマト収穫作業



トラクター試乗体験



キャベツの種まき準備



チンゲン菜種まき



きゅうり袋詰め



馬鈴薯草取り

■ 馬鈴薯収穫開始

7月上旬、長和地区の圃場で馬鈴薯の収穫がはじまりました。今回収穫されていたのはカルビーポテトに出荷されポテトチップスとなる原料で、伊達地区では8戸の生産者によって生産されています。今年度の伊達市内の加工馬鈴薯の作付面積はワセシロ、トヨシロ、オホーツクチップの3品種合わせて約27haで、580tの収量が見込まれています。今年は春先の干ばつの影響から小玉傾向にあり、昨年よりも収量が減少する見込みです。



収穫のようす

■ 種子馬鈴薯検査合格

7月4日(月)、種子用馬鈴薯植物防疫検査が稀府地区で行われ、全筆合格しました。この検査は農林水産省横浜防疫所の防疫官によって、種いもから伝染する病害が疑われる株がないかを検査するもので、病害が生産圃場に蔓延するのを未然に防ぐ事を目的として毎年実施されています。伊達市馬鈴薯採種組合では4件、約5haの圃場で栽培しており、随時自己点検を実施し、引き続き厳しい管理作業を継続していきます。9月下旬より収穫された種子馬鈴薯は、10月中旬に選別・袋詰めされ市内の馬鈴薯生産者をはじめ道内の各産地へと出荷されます。



防疫官による検査の様子

■ Girls'Night!

7月15日(火)、JA伊達市女性部では昨年からは始まり第3弾となる女性部と女性農業従事者の懇親会、Girls'Nightを開催しました。当日は女性部員9名と女性農業従事者2名、職員4名が集まり、オードブルや女性部員が育てた野菜で作ったサラダや料理を囲みながら、日々の生活で気になっていることや農業にかける思いなどを和気あいあいと語り合いました。山本七瀬副部長は「楽しい時間を過ごすことができた。これをきっかけに他の女性部の行事にもぜひ参加してほしい」と話しました。



参加者による集合写真

■ 消防用設備操法フェスティバル

7月18日(金)、第26回消防用設備操法フェスティバルが伊達市消防・防災センターで行われ、当農協からは「消火器の部」に総務課・三浦課長、営農指導課・佐々木係が、「屋内消火栓の部」に農機燃料自動車課・長谷川課長、資材課・中野係、店舗課・清野係が参加しました。このフェスティバルは伊達市防火管理者連絡協議会と伊達市危険物安全協会の事業所から参加者を募り開催され、消防用設備等の取扱い及び操法技術の向上を図り、自主防災体制の確立と併せてその存在を市民にアピールし、地域住民の防火意識の高揚に寄与することを目的としています。



消火器の部に参加した佐々木係

巡回健診のご案内

年に1度健診を受け、健康状態を確認し、
成人病等の予防・早期発見に努めましょう。

- ◎日 程 令和7年11月26日(水)～11月28日(金)
- ◎場 所 JA伊達市2階 会議室
- ◎対 象 者 正組合員及びその家族の方
- ◎申込期日 令和7年9月30日(火)まで
- ◎申 込 先 JA伊達市営農指導課 TEL:0142-23-2181



※受診料・健診内容の詳細は8月配送の農協だよりにより同封しました文書を参照、または
営農指導課へお問合せ下さい。

消火器の巡回点検実施

- ◎巡回期間 令和7年8月19日(火)
～9月30日(火)

- ◎巡回時間 午前9時00分～11時30分まで
午後1時30分～5時00分まで

- ◎巡 回 者 井上 旭・川西 健一郎

家庭用、倉庫用、トラクター用等
で他のメーカーでも点検致します。

点検は無料です。尚、詰替
及び新規更新が必要な場合は組合
員価格にて対応させていただきます。代
金は組合扱いにさせていただきますの
で現金の即日払は不要です。

※点検者

丸興商事株式会社

札幌市白石区中央1条5丁目3-23

TEL:011-841-1286

※問合せ先

くみあいマーケット本店

TEL:0142-23-5751

令和7年産 新米受入について

1. 自家米を調整ラインから玄米紙袋にした場合、出来次第ご連絡しますので速やかに引取りをお願い致します。
2. 米調整ラインをフレコンバック搬入される方は出来る限り出荷枠を取り、出荷して頂きますようご協力お願い致します。
3. フレコンバックで搬入される方は、必ず破損・劣化の確認を必ずして下さい。作業前はコンタミ防止の為、コンバイン・乾燥機の清掃を徹底して下さい。
4. 乾燥機の不完全燃焼により、粳に油煙臭が付いてしまい出荷が出来なかった事例も発生しておりますので乾燥機の点検も重ねてお願い致します。
5. 精米受入量は1回につきフレコンバック粳で600kg・コンバイン袋は20袋程度・玄米紙袋(30kg)は20袋までの搬入とさせていただきます。倉庫に限りがある為、精米が出来上がり次第、御連絡を致しますので早急に引取りをお願い致します。
尚、精米が出来上がらないと次の原料の搬入ができませんのでご了承下さい。
6. コンバイン袋・フレコンバックには必ず名前を記入し、搬入して下さい。
名前の記載がない場合には、こちらで記入させていただきます。
7. 共同施設の為、農協出荷米以外の保管は致しません。

◎ スムーズに業務を進める為にも、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

農産係よりお知らせ

麦乾施設精米業務のお知らせ

9月より土曜日の精米業務を再開します。

問合せ先 生産販売課農産係 TEL：0142-23-2458（麦乾施設）

グリーンセンターよりお知らせ

営業時間変更について

日頃より資材店舗のご利用誠にありがとうございます。

【組合員並びにお客様へ】

令和7年9月1日(月)は、棚卸しのため **13時**から**営業**いたします。
ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【9月からの営業時間】 **令和7年9月1日(月)**から、**8:30～17:00**

【10月～3月の休日】 **日曜祝日** 及び **第2・第4土曜日**は**休日**といたします。

※問合せ先 JA伊達市グリーンセンター(岩崎) TEL:0142-23-6115

知って得する！

NOU
NEN

第3回 農業者年金 オンラインセミナー

参加費
無料

テーマ 自分らしく輝き続けよう！

事前
登録制

人生100年時代といわれる今、いつまでも自分らしく輝かしい生活を送りたいですね。

そのためには、健康とお金は欠かせないもの…。

そんなお金の悩み、農業者年金で解決出来ちゃうんです！

今回は、最初からリアルタイムで質問を受け付けながら、「農業者年金が大好き」な講師お2人が農業者年金について解説します！！農業者の皆様はもちろん、農業委員、最適化推進委員の皆様もぜひご参加ください。



奥さんや子ども
にも大切だよ

農業者年金に
ついて、内容を
より詳しく
知りたい方

お金を貯めるなら
少しでも得する
方法で貯めたい
とお考えの方

具体的な
年金額を知り、
将来の生活を
イメージしたい方

◆開催日時： **8/26** (火)
(15:00~16:00)

◆開催方法：Zoomウェビナー
(オンライン開催)

◆お申込み方法：

右の2次元コードを読み取ってください。
または、下記 URL の予約フォームから必要
事項を記入の上、お申込みください。



URL : <https://forms.gle/WUHVJBUEVWwAdtwu8>

※受講用の URL はご登録いただいたメールアドレスに
開催日までに送付します。

◆お申込み締切日：8/25 (月)

※1 PCやタブレットなどの端末及びインターネット回線は
ご自身でご用意をお願いします。

※2 スマートフォン・タブレットからの参加の場合、
「Zoom Workplace」アプリのインストールが必要です。

※3 災害等の状況によっては、セミナー内容の変更又は
中止させていただく場合がございます。
あらかじめご了承ください。

※4 農業者の仲間やご家族などをお誘い合わせの上、
1つの端末で複数人でご参加いただくことも可能です。

講師

【堀口 浩 氏】

株式会社ジーステラエンタープライズ 代表取締役

32年間在籍した（一社）岐阜県農業会議で、
農地制度、経営対策及び農業者年金等の各種
事業、農業法人協会等農業経営者組織の運営
を担当。退職後、2024年5月開業。これま
での知見を活かし、現在は農業経営に関する
アドバイスや各種講演を行うなど幅広く活躍
中。



【永武 幸子 氏】

農業者年金広域推進協力員
全国農業会議所専門相談員
京都府農業会議現地推進役



公務員生活43年間のうち、8年を農業委員会
事務局で勤務。農業者年金業務を担当。
2025年3月に退職後は、全国農業会議所専門
相談員および京都府農業会議現地推進役とし
て、地域計画、最適化活動や農業者年金の推
進などの手引書の作成や農業委員会業務のサ
ポートを展開中。

※チラシのキャラクターは、京都府農業会議の
農業者年金キャラクター「のうねんくん」



独立行政法人
農業者年金基金

お問い合わせ：企画調整室 ☎03-5919-0332

詳細は、HP をご覧ください。 <https://www.nounen.go.jp/>



これまでの農業者年金オンラインセミナーは、YouTubeの農業者年金基金公式チャンネル「のうねんチャンネル」
でご覧いただくことが可能です。ぜひご覧ください。 https://www.youtube.com/@nounen_channel



もっと

安心と満足をお届けするため…

ライフイベントなど
皆さまの暮らしのことお聞かせください！

聞かせて！
暮らしのこと
アンケートキャンペーン



アンケートの
回答はコチラから！

簡単なアンケートに答えると
抽選で合計600名様に

豪華賞品が当たるチャンス！

さらに！
W
チャンス！ その場で当たるデジタルクーポン
合計100,000名様

「災害による損害の自己負担」

備え
2

火災や風水災等で

建物が全損した場合

保障が不十分だと建替えや修理費用が重くのしかかってきます…

建物の再建築に必要な
再取得価額に合わせた保障を！

さらに、見落としがちなコト…

家財・家具の保障

家財・家具の総額(例)

1,270万円※

※地震の被害は異なる場合があります。大人2人、子供2人の4人家族
(住宅面積(延べ面積)66㎡以上、122㎡未満の場合、JA共済(お住まいの地域)により異なります)

もし被災してしまっても、保障が十分で
あれば新しい一歩も踏み出しやすいですね。



そこで！

建物・家財を幅広く保障

建物更生共済

建物更生共済

むてきプラス

My家財プラス

激甚化が進む自然災害。高まる災害リスク
保障内容に不足はありませんか？

25481050193

コラム



あなたの夢を、確かなカタチに。

JAの住宅ローン

CHECK/

JAバンクの住宅ローンが選ばれる理由

様々な住宅プラン
にフィット



新築・増改築、建売住宅やマンションの
購入など、お客さまの様々なマイホーム
プランにお役立ていただけます。

ゆとりある計画で
無理なく返済



返済方法・融資額・融資期間等、お客さま
のライフプランにあわせて、無理のない
返済計画をご提案いたします。

リフォームも
おまかせください



増改築や間取りの変更から、インテリアや
外装の工事などリフォームにも幅広くご利
用いただけます。

私たちが寄り添えることを、もっと。— JA共済×全農×JAバンク —

私たちが寄り添えることを、もっと。

JA共済 × 全農 × JAバンク

今回のテーマ

防災

“自然災害に2つの備え”

ナレーター
田中 津子さん

備え

1

いざという時も、日常に近い生活が続けるために
知恵・工夫・練習で備える
日常防災を、家族と一緒に楽しもう

日本各地で甚大な被害をもたらしている自然災害。「ライフラインの復旧が遅れる」「復興半ばに再び被災し、再建の目途が立たない」など、避難生活が長期化するケースも発生しています。これからの「防災」は、長引く避難生活のストレスを減らすために「被災時に、いかに、普段と変わらない生活を送るか」という視点が大切です。

例えば食事。「アルファ化米などの備蓄食を買ってある」という方も多いかもしれませんが、いざ食べてみると、子どもやシニアが「食べ慣れないから嫌だ」と受け付けないことも。「アルファ化米を食べてみて、味に慣れておく」「食べ慣れたお米も備蓄する」など、日常生活と避難生活のギャップを減らしましょう。また、「防災グッズ」は、使い慣れない専用品を買わなくても、家にある物で代用できます。記事下では、災害時に役立つおすすめアイテムを紹介します。自作して試してみてください。ほかにも、避難所に入れない・たどり着けないといったケースも。「避難所を3箇所は想定しておく」「避難所までの経路を複数考えておく」など、臨機応変に行動できるように考えておくほか、普段から防災について家族で話し合うことも大切です。

被災時は想定外のことが多く発生し、様々なストレスがかかります。「防災リュックを用意したから大丈夫」と油断せず、家族で、日常防災に取り組みしましょう。（国際災害レスキューナース 辻直美）

家にある物を活用！

災害時に役立つ

P・P・G・S

P ベットシート

※紙おむつ・ほろ布でも代用可

ゴミ袋の中に新聞紙と一緒に入れて「災害用トイレ」に。



P ベットボトル

懐中電灯の上に置くと「ランタン」になり、室内灯の代わりに。



G ゴミ袋

リュックサックの中に二重に被せて「給水タンク」に。

※運ぶ際はゴミ袋の口を縛ってください



S 新聞紙

くしゃくしゃにして首や手首、足首などに巻き、「防寒グッズ」に。



CHECK

日常防災にJA共済アプリを！

避難場所やハザードマップなど
防災対策に役立つ情報が満載！

JA共済アプリ

検索



私が拠点置く沖縄は台風が多いので、日常的に防災用品を使っています。皆さんもぜひ、日常防災を実践してみてください！

[監修]
一般社団法人育母塾
代表理事
国際災害レスキューナース
辻直美さん



令和
7年度
の
換地
委員
会

▶第33回理事会…令和7年7月29日(火)

<議案>

- 第 1 号 クミカン供給限度額及び貸越極度額の変更について
- 第 2 号 貸金庫業務の閉業について
- 第 3 号 第1・四半期監事監査回答(案)について
- 第 4 号 カスタマーハラスメント対応要領並びに基本方針の新設について
- 第 5 号 出資金持分譲渡について



JAコネクト

スマホアプリ 『JAコネクト』

JAからの情報配信手段として、スマホやタブレットのアプリに配信する「JAコネクト」を導入いたしましたのでご案内いたします。

※ご利用希望の方は、別紙「JAコネクト利用申込書」に記入し提出願います。

※お問い合わせ先

審査課 担当 高橋 TEL : 23-2181



iPhone用



google用



未来を変える。 みんなで変える。

国営緊急農地再編整備事業

「伊達地区」 Vol.94

令和7年度第1回換地委員会を開催

7月2日(水)に関内東地区換地委員会を開催しました。

今回の委員会では、土地の大きさや形状、傾斜などの「土地評価項目の基準」について審議を行いました。

換地委員会の審議・決定内容や今後の開催案内につきましては、伊達市のホームページに掲載していますのでご確認ください。

伊達市のホームページ⇒「市民協働」⇒「審議会」⇒「換地委員会」でご覧になれます。

今後は、現地の確認を行いながら土地評価を進めていく予定です。



◆問い合わせ先

伊達地区国営緊急農地再編整備事業促進期成会
事務局 (伊達市 経済環境部 農地整備課内)

TEL0142-82-6161 (直通)

読者に寄り添い
より身近で活用しやすく

家の光

□ I E n o H I K A R I

「食と農」「暮らし」「協同」「家族」を柱に
「人生100年時代」の元気づくりを応援していきます!

誌名	2025年 8月号までの定価(税込)	9月号からの 新定価(税込) ※毎月統一価格
家の光 普通月号	629円	900円
特別月号(1・4・5・7・9月号)	922円	
12月特別号	1,027円	

お申し込みはお近くのJAへ

JAグループ 家の光協会

〒162-8448 東京都新宿区市谷谷河原町11

TEL 03-3266-9039

<https://www.ienohikari.net/>

発行 伊達市農業協同組合(営農指導課編集)

〒052-8666 伊達市末永町74 TEL 0142-23-2181

E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp <http://www.ja-dateshi.or.jp>



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム

